

3.10.3 研究推進部門 国際推進グループ

グループリーダー 猪木誠二 ほか7名

グローバルな連携活動の推進

概要

海外の研究機関との共同研究、人材交流など、グローバルな連携活動を推進し、ICT分野におけるイノベーションの創出により、社会に貢献している。

情報通信分野を取り巻く環境のグローバル化の進展等に鑑み、海外における国際機関、政府機関、大学及び研究機関との国際連携を推進するため、各種国際会議やイベント等への参加、NICTの活動等に関する情報発信、情報の収集を定常的に行うとともに、フォーラム等の開催、共同研究覚書の締結を行っている。また、海外研究者の招へい、国際研究集会助成などによる人材交流の促進を図っている。

アジア、北米及び欧州地域の各々にある拠点も活用し、研究開発に係る国際的な取組を積極的に行っている。海外拠点においては、国際機関、政府機関、大学及び研究機関との国際連携を推進するため、各種国際会議等への参加、NICTの活動等に関する情報発信、現地情報の収集を定常的に行うとともに、フォーラムの開催などを実施している。

平成21年度の成果

(1)国際連携活動の推進

- ① 国土地理情報院（韓国）、科学アカデミー宇宙物理電波伝搬研究所（ロシア）、電気通信研究産業開発院（タイ）、泰日工業大学（タイ）、南洋理工大学（シンガポール）、タンペレ工科大学ポリ校（フィンランド）、インドネシア大学（インドネシア）、韓国航空大学（韓国）、国家計量標準機関（タイ）、チャルマース工科大学（スウェーデン）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（米国）、華東師範大学大規模コンピューティング研究所（中国）との包括的研究協力協定（MOU）を新たに締結した。また、国立情報通信研究所（シンガポール）、台湾工業技術研究院（台湾）、中国科学院（中国）、フランシュ・コンテ大学（フランス）、先進コンピューティング開発センター（インド）、ジョージア工科大学（米国）との間でMOUの再締結を行った。
- ② 外部有識者による国際交流プログラム審査委員会の審査を経て、8件の国際研究集会への助成及び、7人の海外研究者（中国2名、アメリカ、イギリス、フィンランド、ポーランド、韓国各1名）を国内研究機関へ招へいした。
- ③ インターンシップ研修員制度により学生を12名（アメリカ4名、フランス2名、中国2名、フィンランド2名、ドイツ、ハンガリー各1名）受け入れた。
- ④ 来日研究者支援の一環として、前年度に引き続き日本語講座を開講した。
- ⑤ 日ハンガリー情報通信カンファレンス2009（futurICT2009）をブダペストにて、アジア情報通信技術フォーラム2009（AFICT2009）を、ベトナムのハノイ、マレーシアのクアラルンプール、シンガポール、タイのバンコクにて主催した。また、第2回「日EU・ICT研究協力フォーラム」に参加したほか、ITUワールドテレコム2009に出展し、講演を行った。
- ⑥ 中国、タイ、シンガポール、カナダなどから多くのVIPが来訪した。

(2)海外拠点における国際連携活動

①アジア研究連携センター：

ア タイ自然言語ラボならびに無線通信ラボの運営支援を行った。海上無線技術を含むITS情報通信国際会議「ITST2009」を開催した。東南アジア地域における自然言語講習会ADD5の開催を支援した。

イ NICTの各研究センター等の東南アジア展開を支援した。泰日工業大学からのインターンシップ研修員の受入れ調整、日タイ間JGN2plus実験タイ側ネットワーク整備支援、超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)タイ側実験協議会立上げ提案参画、アジア情報通信技術フォーラムの開催調整を行った。

また、アジア太平洋電気通信共同体（APT）標準化活動に参加したほか、タイ科学技術展等に出展した。

ウ 東南アジア地域のICTの研究開発関連の情報収集と動向調査を実施し、その成果をNICT Webサイ

ト上で公表した。

エ 東南アジアにおけるネットワークや標準時など新たな NICT プロジェクトのインキュベーション機能強化を行った。

②ワシントン事務所：

ア 米国政府系研究機関関係者、官民の研究者を招へいして、多言語情報処理をテーマとする第6回「日米 ICT R&D フォーラム」を開催した。

イ 新世代ネットワークや超臨場感の実現に係る米国の研究開発・技術開発動向の調査を実施し、その成果を NICT Web サイト上で公表した。

ウ 政府間協議、国際機関の会合、シンクタンク主催シンポジウムなど多数の国際会議に参加し、情報収集、意見交換等を行ったほか、アメリカ国立科学財団（NSF）やアメリカ国立標準技術研究所（NIST）等関係機関との連携強化に寄与した。

③パリ事務所：

ア ITU 主催の「ワールドテレコム 2009」に出展した。また、欧州委員会と総務省が共催する第2回「日 EU・ICT 研究協力フォーラム」に参画し、NICT の研究活動を紹介した。

イ 「欧州におけるネットワークの融合の状況および未来のネットワーク構築に向けた取組みに係る動向」等の我が国でも関心の高いテーマを中心に欧州 ICT の動向を調査し、その成果を NICT Web サイト上で公表した。



第2回「日 EU・ICT 研究協力フォーラム」
(2009年7月2日、ブリュッセル)



中国科学院との覚書調印式
(2009年8月3日)



ITU ワールドテレコム 2009
(2009年10月5～9日、ジュネーブ)



アジア情報通信技術フォーラム 2009
(2009年12月9・11・14・16日、クアラルンプール他)



第6回「日米 ICT R&D フォーラム」
(2010年3月4日、ワシントン DC)



カナダ宇宙庁（CSA）長官来訪
(2010年3月12日)